

「経営者、ビジネスパーソンのための霊性」

柏崎 久雄

日本アッセンブリー教団千葉福音キリスト教会牧師
有限会社ヨーゼフ・サプリー 代表取締役社長
内科・小児科マリヤ・クリニック事務長

1. 「霊性」とは、何か。

「御霊によって歩みなさい。」ガラテヤ5:16.

「御霊の実」 愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。

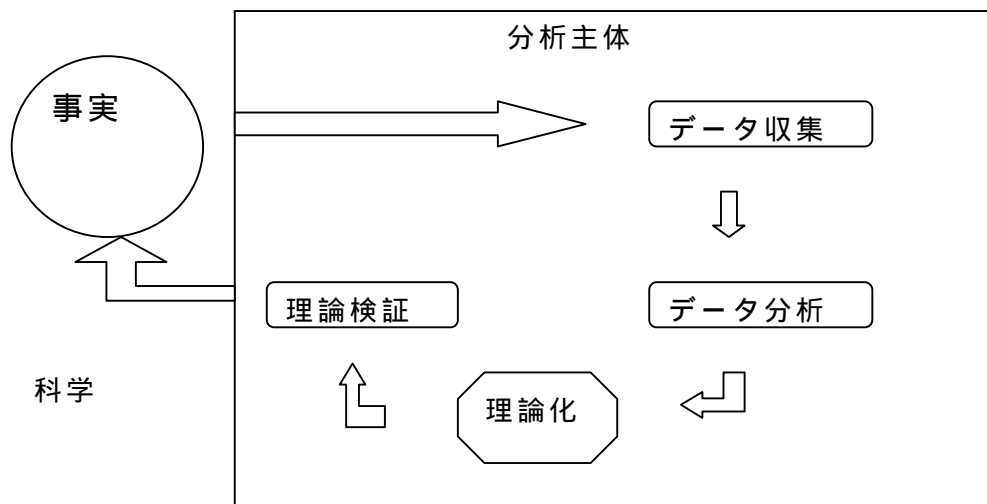
多くのクリスチャンは霊性という品性のように思っています。しかし、それは御霊によって歩んだ結果であって、品性を求めることが霊的であるということとは別です。日本ではクリスチャンになるような人は品行方正であるという先入観があり、自他共にその意識がクリスチャンの行動を拘束しています。

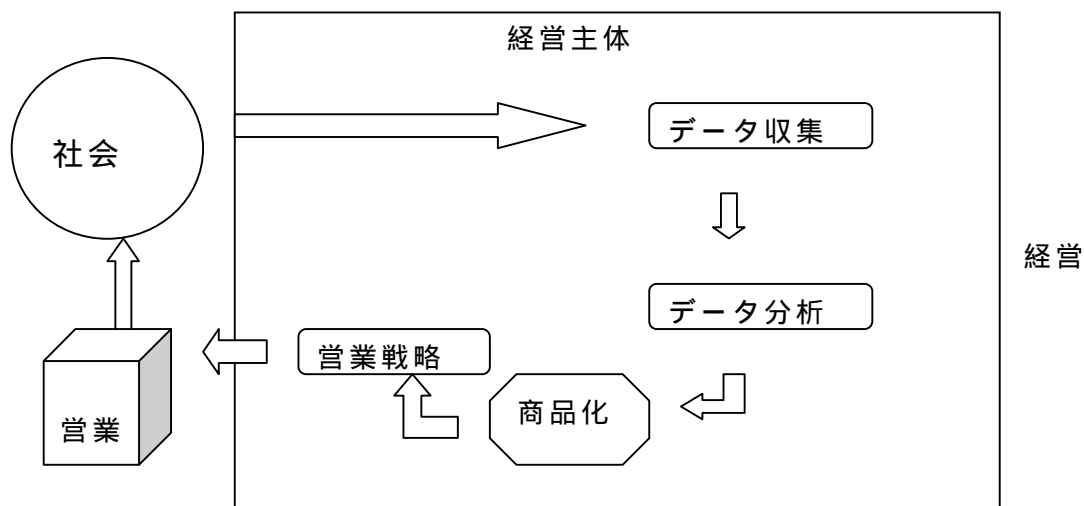
ブッシュ大統領に対する日米のクリスチャンの意識の違いが面白い。日本人クリスチャンは大抵、熱心な信仰告白はするものの、感情的で単純な彼を好いていません。アメリカ人クリスチャンは、信仰を前面に出していること、罪と弱さを認めていることで、彼を支援しています。つまり、クリスチャンに品行方正を求めています。

2. Spirit

この単語の意味は、一般の辞書では心、靈魂、精神、元気、気力、気迫、熱情、特質、傾向などがあります。要するに、開拓者魂、根性、などというもので、一昔前の経営者が好んだ言葉ですが、最近は「気力だ！」と叫ばれるように、やはりその重要性が再認識してきたと思われます。

3. 科学と経営





科学や学問と経営との違いは、営業が入ることです。つまり、現実社会との交渉です。この営業にあたって、品性を備えることは重要ですが、むしろ、スピリットが必須です。なぜなら、営業は理論ではなく、人を相手にし、顧客に買いたいという動機を与える感覚的なものだからです。「ジャパネットたかた」という通販の会社がありますが、あの社長以外では販売力は小さいでしょう。力ある広告は人物を強調しています。

4. 霊に燃え

「霊的」「霊性」というと、聖霊なる神に感化されているということの意味ですが。はたして、それは人格的なものなのでしょうか。私も当然、人格者でありたいと願っておりますが、それは結果であって、人格者でありたいと願うとチャンスを失い、人目を気にし、経営判断ができません。そして、結局は従業員を路頭に迷わすこととなります。経営者としては、きれいごとを言っていてはいけません。或いは、きれいごとを言い、何もわからない振りをしながらも、経営全体の進展を願い配慮するのです。無論信仰者として筋が通っていることは基本です。

多くの実業家と会い、考察させていたがきましたが、成功した経営者の多くは個性豊かな人で、言葉を変えると頑固者、変人、そんな人です。よく言えば主義主張のはっきりした人です。彼らは、自分がどのように見られるか、などと気にしていないのです。やりたいことを徹底してやっているのです。

5. わたしの失敗談。

この世の成功を捨てたはずなのに牧師としての出世を考えてしまった。自分を神の器などを考えた過ち。他人を自分の思い通りに動かそうとしてしまった。失敗や罪をごまかして先に進もうと考えたが、結局、清算しなければならなかった。試練は、自分の罪や怠慢がもたらしたものであることが多い。弱さを認め、意地を張らずに人に頼み知恵や助言を受け入れ、頭を下げれば、道はどうか開いてきます。開かなかつたら、戻ればいいですね。金持ちや成功者になりたがるとクリスチャンとして以前に、人はみな失敗すると思います。

「金持ちになりたがる人たちは、誘惑とわなと、また人を滅びと破滅に投げ入れる、愚かで、有害な多くの欲とに陥ります。」 テモテ 6・9